

驚異の成長、 世界の先物市場

世界の変動から経営守る

編集部

先物取引というと、まだ、「リスク（危険）が大きい」と思っている経営者が多いのではないのでしょうか。だが、あらゆる種類のリスクが横溢している現代、「リスクヘッジ（危険の保険つなぎ）をしないことがリスク」とも言われるようになってきました。世界では先物取引を通じて価格の変動をヘッジすることはいまや、「企業経営者の常識」です。そのような経営者の意識変革を背景に、世界の先物取引はその種類を増大させ、出来高も急増させています。いまや、先物取引を除いては経済を語れない時代となっているのです。

2002年の出来高は 22%もの増加

先物取引はまず、商品先物取引から始まったことはよく知られています。だが、現在はその手法が単に「価格の騰落から経営を守る」だけでなく「資産の下落から経営を守る」ことにも使われるようになってきました。主な先物取引だけでも、商品先物取引以外に為替（＝通貨）先物取引、株式先物取引、債券先物取引、金利先物取引など広範囲に及んでいます。

それとともに出来高は年々、飛躍的に増大しています。米国先物取引業協会（FIA）の調べによると、2002年の世界の総出来高は18億224万枚。前年より22%も増加しました。2002年は世界経済が停滞した年でしたが、イ

ラク問題などで緊張が高まったことからヘッジ需要が急増したからです。

いや、2002年ばかりではありません。近年、経済の不調をよそに、先物取引の出来高は年々、2ケタ増を記録。毎年のように史上最高を更新しているのです。

上位20商品の 半分は実物商品

世界の先物大国、米国での2002年の取引所別、商品別出来高を見ると、次頁の表のようになっています。トップはシカゴ・マーカントイル取引所（CME）のユーロドル3カ月物、2位が同じくCMEのミニS & P 500、3位がシカゴ商品取引所（CBOT）の10年物Tノート、そして7位がニューヨーク・マーカントイル取引所（NYMEX）の原油という具合です。これをみると、為替、株式、債券、商品がすべて網羅され、極めて幅広く先物取引が行われていることが分かります。

出来高をセクター別に見ますと、上位10商品中、実物商品は原油を含め、8位の天然ガス、10位のトウモロコシと3つしか入っていません。これを見ると、「金融商品優位」という世評を裏書きしている感じがします。だが、11位から20位では大豆、ガソリン、暖房油、金、大豆ミール、小麦、大豆油と実に7つが入り、21位から30位でも、砂糖、生牛、銀の3品目が、31位から40位まででは銅、小麦、コーヒ

米国の先物取引所別・商品別出来高

(2002年、単位1,000枚、オプションを除く、FIA調べ)

| | 商品名 | 取引所名 | 出来高 | シェア |
|----|-------------|-------|---------|-------|
| 1 | ユーロドル3カ月物 | CME | 202,081 | 23.7 |
| 2 | ミニS&P500 | CME | 115,742 | 13.6 |
| 3 | 10年物Tノート | CBOT | 95,786 | 11.3 |
| 4 | Tボンド | CBOT | 56,082 | 6.6 |
| 5 | ミニNASDAQ100 | CME | 54,491 | 6.4 |
| 6 | 5年物Tノート | CBOT | 50,513 | 5.9 |
| 7 | 原油 | NYMEX | 45,679 | 5.4 |
| 8 | 天然ガス | NYMEX | 24,358 | 2.9 |
| 9 | S&P500指数 | CME | 23,700 | 2.8 |
| 10 | トウモロコシ | CBOT | 18,132 | 2.2 |
| 11 | 大豆 | CBOT | 14,475 | 1.7 |
| 12 | ガソリン | NYMEX | 10,979 | 1.3 |
| 13 | 暖房油 | NYMEX | 10,695 | 1.3 |
| 14 | 金 | NYMEX | 9,019 | 1.1 |
| 15 | 大豆ミール | CBOT | 7,175 | 0.8 |
| 16 | ユーロFX | CME | 6,987 | 0.8 |
| 17 | 小麦 | CBOT | 6,873 | 0.8 |
| 18 | 大豆油 | CBOT | 6,816 | 0.8 |
| 19 | ダウジョーンズ指数 | CBOT | 6,486 | 0.8 |
| 20 | 30日Fファン | CBOT | 6,286 | 0.7 |
| 21 | 砂糖11 | NYBOT | 6,173 | 0.7 |
| 22 | NASDAQ100指数 | CME | 4,903 | 0.6 |
| 23 | トラックスセレクト50 | CME | 4,615 | 0.5 |
| 24 | 日本円 | CME | 4,395 | 0.5 |
| 25 | 生牛 | CME | 3,852 | 0.5 |
| 26 | 2年物Tノート | CBOT | 3,201 | 0.5 |
| 27 | 銀 | NYMEX | 3,136 | 0.4 |
| 28 | カナダドル | CME | 3,135 | 0.4 |
| 29 | スイスフラン | CME | 2,830 | 0.3 |
| 30 | LMCトラックス | CME | 2,687 | 0.3 |
| 31 | トラックス | CME | 2,469 | 0.3 |
| 32 | 銅ハイグレード物 | NYMEX | 2,807 | 0.3 |
| 33 | 小麦 | KCBT | 2,739 | 0.3 |
| 34 | コーヒーC | NYBOT | 2,719 | 0.3 |
| 35 | 綿花2号 | NYBOT | 2,328 | 0.3 |
| 36 | ミニダウ指数 | CBOT | 2,225 | 0.3 |
| 37 | 英ボンド | CME | 2,116 | 0.2 |
| 38 | ココア | NYBOT | 2,080 | 0.2 |
| 39 | 生豚 | CME | 1,931 | 0.2 |
| 40 | オイルサービス指数 | FSE | 1,598 | 0.2 |
| | その他共計 | | 851,310 | 100.0 |

一、綿花、ココア、生豚、オイルサービス指数と7つ入っています。上位20商品で見ても、40商品で見ても、半分は実物商品とそれを基にした指数商品なのです。商品先物取引は決して衰退していません。むしろ、その必要性はますます高まっていることをこの表は証明しています。

リスクに備える者こそ経営者

今年3月、米国がイラクに攻め込みました。それまでの間、原油価格は上がりましたが、攻め込む直前に下がりました。戦争が短期間で終了するとみただからです。その後、意外に戦後統治がうまくいかないと分かり、また上がりましたが、イラクの生産が回復するとみて、また下がりました。穀物も米国が記録的な豊作になるとみて下がりましたが、欧州が熱波に襲われ、穀物生産が大打撃を受けたとみると再び上昇しています。つれて、出来高も急増しており、今年もまた、史上最高を大きく上回ることは間違いありません。

このようなテロ、戦争、天候などといったイベント（=不意の出来事）はいつ起こり、先行きどう展開するかだれも分かり

ません。そのようなときに生じるリスクを先物取引を使ってヘッジしておくことこそ真の経営者といえるでしょう。

いま、テロなどイベントリスクは高まる一

方です。いつ、価格、資産が暴落するか、仕入れ価格が暴騰するか分かりません。そのときの力強い助っ人として、先物取引はますます盛んになることでしょう。

CBOT=シカゴ商品取引所、CME=シカゴ・マーカンタイル取引所、KCBT=カンザスシティ商品取引所、NYBOT=ニューヨーク商品取引所、NYMEX=ニューヨーク・マーカンタイル取引所、FSE=フィラデルフィア証券取引所